

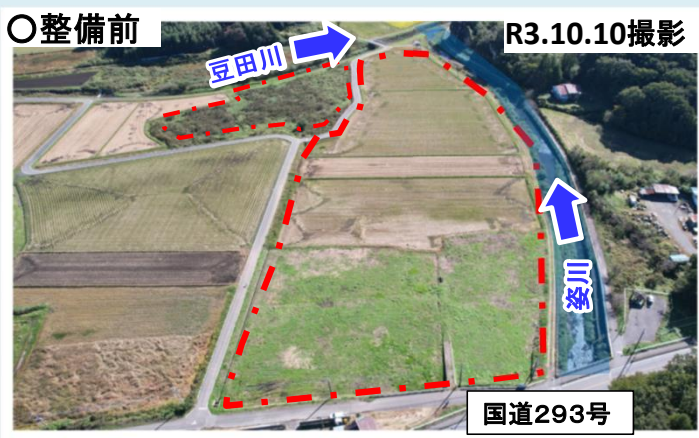
一級河川 姿川 河川改修事業における 岩原調節池の完成について

○概要

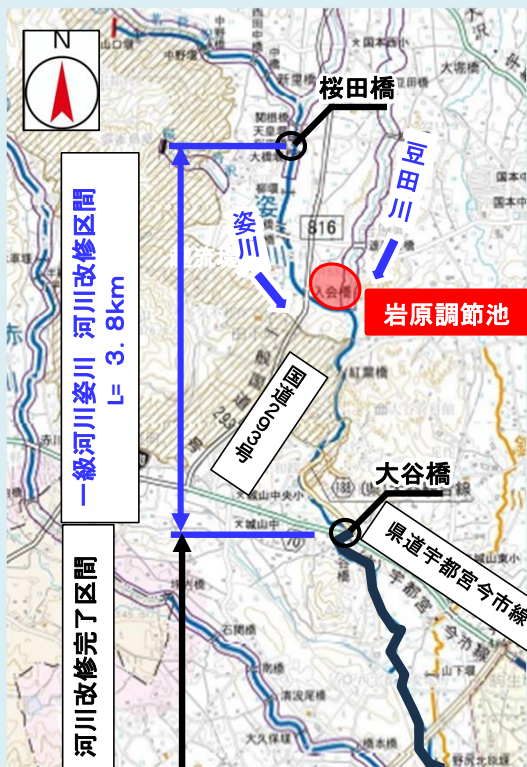
平成27年の関東・東北豪雨、令和元年東日本台風の出水による浸水被害を契機に一級河川姿川では、令和2年度より、県道宇都宮今市線(大谷街道)に架かる大谷橋から市道569号線に架かる桜田橋までの3.8kmにおける河川改修事業を進めています。

この事業の一環として、令和2年度から「岩原調節池」の整備に着手し、**令和5年11月末に完成しました**。調節池の整備により、岩原町から下流域の大谷地区における浸水被害の軽減が図られます。

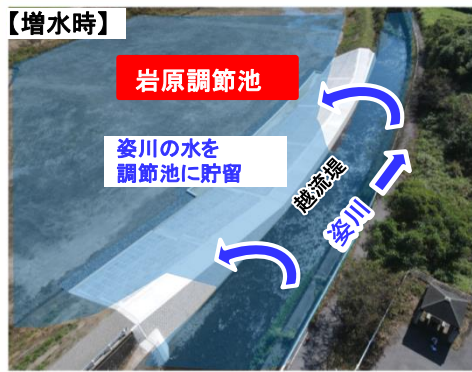
引き続き、姿川流域の浸水被害の軽減を図るため、大谷橋から上流に向かって姿川本川の河川改修工事を進めていきます。



○位置図



○調節池の機能・効果



洪水時に一定の水位を越えると、越流堤から調節池に水が流入し、洪水を一時的に貯めることで下流の浸水被害を軽減します。



姿川の水位が下がった後、調節池に貯留した水を排水樋管から徐々に姿川へ排水します。

【岩原調節池】

- ・位置 姿川と豆田川の合流点上流左岸
- ・面積 約3.4ha
- ・調節容量 約7.0万m³ (2.5mプールの約196杯分を貯留)
- ・調節効果 姿川の水位上昇の抑制し、浸水被害を軽減します。
- ・調節量 2.0m³/s
- ・事業期間 令和2(2020)年度～令和5(2023)年度
※2.5mプールサイズを幅12m×長さ25m×深さ1.2mとして、1杯当たり360m³で計算。